

江田島市第2期人口ビジョン・総合戦略（案）に係る意見募集の結果について

■実施結果の概要

1 実施時期

令和3年2月10日（水）から令和3年3月3日（水）まで

2 周知方法

市ホームページへの掲載

資料の閲覧，貸し出し（企画振興課，本庁1階ロビー，市民センター（江田島・能美・沖美），三高支所）

3 提出方法

電子メール，ファクシミリ，郵送又は直接提出

4 意見募集の結果

意見提出者数 5人（12件）

提出方法内訳 直接提出5人（12件）

ご意見の概要と市の考え方

※ いただいたご意見は、できる限り原文に近いものとしていますが、編集の都合上、一部加工を加えています。

No	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	目指すべき将来の方向で人口を増やすとしながら、「子どもが生まれ、育つ環境をつくる」が3番目なのがおかしい。子どもが生まれないと人口が増えないため、この部分を一生懸命やった方がよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの基本目標は、優先順位があるものではなく、並行して取り組んでいくこととしています。 ・ ご指摘のとおり、日本全体で人口減少が進む中、子どもが生まれることは非常に重要です。 ・ 基本目標Ⅲの考えに基づき、市内で子どもを生み、育てたい環境づくりを図ってまいります。
2	公共的な建物は、将来の子どもに対して、最重要か考えた上で施工してほしい。負の財産は重荷だから。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の建設に際しては、その必要性をしっかりと検討した上で、事業化してまいります。
3	「田舎で子育て」のよいところを発信して、これを3番目にある子育て環境をつくることをメインに戦略してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標Ⅱにおいて、島の暮らしについての情報発信を進めていくこととしております。 ・ 子育て環境を整えるとともに、本市で子育てすることの魅力の発信に取り組んでまいります。
4	江田島市の知名度アップや企業誘致など、第1期の成果が出てきているように思う。継続を望むので、第2期の計画はとてよいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい成果を継続して生み出すことができるよう、引き続き取り組んでまいります。
5	高齢者世代の知識や経験も有効に活用し、若年層、子育て世代に江田島市のよいところをアピールしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期総合戦略においては、保育・教育面で、地域の方に関わっていただく取組項目を掲げております。(※) ・ 高齢者世代の皆様のご協力をいただきながら取組を展開しつつ、島の子育て環境をアピールしてまいります。 <p>※ P65「地域と連携した保育の実施」、 「島の自然などを活用した特色ある保育の展開」、 P66「祖父・祖母世帯の子育て参画の推進」など</p>

No	ご意見の概要	江田島市の考え方
6	ワークショップ等にも参加を促し、役所の施策ではなく、自分たちのことと考えることが必要と実感した。	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、総合戦略以外のテーマでも、ワークショップやアンケート等で皆様のご意見を伺う機会があります。 ・こうした機会に、是非、ご参画いただけると幸いです。
7	市職員のスキルアップもお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を中心となって実行するのは市職員であり、ご指摘のとおり、市職員のスキルアップは欠かせません。 ・「江田島市行財政経営計画」(令和2年度～令和6年度)に基づき、市職員の人材育成にも取り組んでまいります。 <p>※ 江田島市行財政経営計画 https://www.city.etajima.hiroshima.jp/cms/articles/show/7983</p>
8	広報紙市長年頭のあいさつにも総合戦略について触れて、市民に伝えるべきでは。	<ul style="list-style-type: none"> ・HPその他の様々な媒体や場面を通じ、総合戦略の周知を図ってまいります。
9	第2期総合戦略を確固たるものにするため、予算要求時には事業ごとに総合戦略における位置付けと、戦略にどれくらい貢献できるのか重要度を数値化(KPI等)で示し、各事業終了時に達成度を分析し、PDCAをまわすことが大事である。	<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算編成の際には、事業目的をしっかりと見極め、成果が見込まれるものに注力してまいります。
10	とてもよく“見える化”された現状分析把握と、これを基にワークショップを通じた真剣な議論から、基本目標と重点取組項目を作り上げられていることがよく分かります。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から今年度にかけて行った計3回のワークショップでは、市民と担当職員が同じテーブルで丁寧に議論を重ね、その間に担当部署内の検討を繰り返してきました。この度の縁を大事にし、総合戦略の検証の際も引き続き議論ができればと考えています。

No	ご意見の概要	江田島市の考え方
11	<p>岡山市出身の広井良典教授（京都大こころの未来研究センター）の掲載コラムと『人口減少社会の構想』（放送大学）からの抜粋を添付します（コピー許諾済み）。広井教授の“人口減少社会は「地域への着陸」”というキーワードとともに、より重要になっていくコミュニティ社会育成について、“歩いて楽しめる「コミュニティ空間」”の切り口によるヨーロッパ地方小都市の事例は、江田島市の参考になるのではないのでしょうか。総合戦略に取り組みされる方々に参考共有いただければ、幸いです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国全体から一地域におけるコミュニティ形成という「地域への着陸」という流れの中で、海外事例を参考にして、本市の特色を強みとしたローカルコミュニティを形成することの必要性を再認識しました。大変参考となる文献ですので、積極的に共有していきたいと思います。
12	<p>基本目標Ⅰのプロジェクト3「お客を呼び込む。」について、新ホテル建設のみなので、お客を呼び込むためには、日帰り等でも利用できる、市による基幹観光施設（市営温泉施設など）が必要不可欠なのではないか。同じ項目として、海水浴場は江田島市にとって重要な観光資源であるにもかかわらず、力を注いでいない現状で、整備拡充が最も必要なものであると考える。また、観光メニュー提供事業者への資金支援など、本当の意味での観光事業の造成が欠けていると思われる、これらを行うことによって、観光資源の増加が見込まれる。きちんとした観光資源の整備なくして、江田島市のPRは成り立たないと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃるとおり、宿泊客だけでなく、日帰り客を取り込むことも必要であると認識しております。 ・本市の魅力である海、特に海水浴場の整備に当たっては、来年度にかけて整備する予定があります。 ・基本目標Ⅰのプロジェクト3の中には、「観光戦略チーム「一歩」による体験型観光メニューの造成」（P49）があり、これに係る補助金制度を設けています。 ・今後とも、本市に訪れたいと思われるような観光資源を提供できるよう、取り組んでまいります。